

■ 当院での上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）をする手順

① 事前検査

◇検査を安全に行うために、抗凝固剤内服の有無の確認や全身状態の診断と感染症の有無のため採血や心電図検査などを行う場合があります。心臓病や緑内障、前立腺肥症などがある方は、事前にお知らせください。

② 検査前日

◇アルコールなど暴飲暴食をさけ、消化に良いものを食べるようにしましょう。

◇固形物が入っていない飲料は飲水可能です。

【午前検査の方】

◇夕食は早めに済ませて PM 9 時以降の固形物摂取はせず、早めの就寝を心がけてください。

（内服中の方は、検査前日の就寝前までの内服は可能です。）

【午後検査の方】

◇検査日の AM 3 時以降の固形物摂取はしないでください。

（内服中の方は、検査当日朝までの内服は可能です。）

③ 検査当日

◇車・バイク・自転車での来院は、絶対にご遠慮ください。

◇タバコは、やめてください。

◇タオルをなるべく持参してください。

◇検査 1 時間前まで水やスポーツ飲料などで飲水することは可能ですが、食事はしないでください。

◇午前検査の方は飲水は軽度でお願いします。

（飲水禁：味噌汁やスープ、牛乳、ジュース、お茶など）

◇当日は身体を締め付ける服装は避けてください。

（和服、ボディスーツ、ガードルなど、着用してる場合は検査前にはずしてください）

④ 前処置

① 検査 15 分前

◇ガスコンド[®]内用液・ガスチーム・炭酸水素ナトリウム・水を内服します。

② 検査 5 分前

◇胃や腸の動きを止める鎮痙剤の筋肉注射をする場合があります。

（禁忌：前立腺肥大・緑内障・心疾患・甲状腺機能亢進）

【経口内視鏡の場合】

③ 検査 5 分前

◇キシロカインビスカスを使用する場合は、ビスカスをのどに溜めたのち、検査直前に吐き出してもらいます。

◇キシロカインスプレーを使用する場合は、5 分間の間にのどにスプレーを 3 回ほどしてもらいます。次は⑤

【経鼻内視鏡の場合】

③ 検査 10 分前

◇鼻腔内に 5000 倍ボスミンを塗布します。

④ 検査 5 分前

◇キシロカインビスカス 2%を、スコープを通す側の鼻にゆっくりと注入し、次に経鼻内視鏡用スティック（14Fr）を同側の鼻に挿入します。経口内視鏡同様に口腔内にもキシロカインビスカスやキシロカインスプレーで麻酔してもらいます。

⑤ 検査 3 分前

◇経鼻内視鏡用スティックを 14Fr から 16Fr に変更し挿入します。

⑤ 検査直前

◇検査中は、胃の中に空気を入れて膨らませるのでお腹が張ります。ベルトを緩めて左向きで寝てください。

◇経口内視鏡の場合は、マウスピースを口にくわえてもらいます。

◇鎮静剤使用の場合は、ドルミカム単剤かペンチジンを併用静脈注射します。

⑥ 検査

◇鼻（鼻から挿入できない場合は経口に変更する場合があります）から、もしくは口から内視鏡を挿入し、10～15 分ほどで検査終了します。

◇ブスコパンを筋注していない患者さんで検査中に蠕動運動が激しい場合は、ミンクリア内容散布液（蠕動運動抑制剤：ミント）を内視鏡から散布し、蠕動を抑制し観察します。ミントが苦手、アレルギーがある方は事前にお話してください。

◇むせてしまうため検査中は唾液を飲み込まず吐き出し、持参したタオルで唾液を拭き取るようにしてください。

⑦ 検査後

◇前処置の時間や待ち時間なので検査時間は多少前後しますので、1 時間ほどの余裕はもっておいてください。

◇鎮痛剤や鎮静剤を使用した患者さんは、30 分から 1 時間ほど当院にて経過をみてもらい帰宅しますので、検査開始後トータル 2 時間ほどの時間的余裕はもっておいてください。

◇飲水や食事は、検査後 1 時間から 1 時間半後に摂取してください。

◇組織やポリープを採取した方は、刺激物や熱い食べ物、アルコールなどの摂取は 3 日ほど避けてください。